

## 日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員  
上野 正博

くつもの規制を雄・雌それぞれの生育状況に合わせて細かく定めました。

### 雄が足りない

実は、これらの国では資源を守るために雌方を二をとることを禁止しているところが多いの

さらに国際的な取り

決めや漁師さんの間の取り決めで、1隻の船がとつてもよい量まで

めに一番いい方法のよいうに思いますね。日本がやっているように雌をとるのはいけないことなのでしょう。話はそう簡単ではありません。

が雌ガニを抱きかかえます。このガードは何日も続くので、1回の産卵期に1匹の雄が交尾できるのはせいぜい10匹の雌。おまけに、雌に渡す精子の数は交尾の回数が増えるのが減り。つまり、雌ばかり残して雄が少なくなると、あぶれてしま

昨年11月に始まったズワイガニ漁も3月20日に終わり、今年もまずまずの水揚げだったようです。40年くらい前まで能登半島より西側の日本海では、年間1万ト以上もズワイガニが捕れたのですが、乱獲がたたって急減。20年前には1000ト台と最盛期の十分の一に落ち込んでいました。

卵を産む雌を保護するのは、資源を守るためです。ズワイガニのような大型のカニは、産卵期になると、まず雄ガニ

ズワイガニの研究で世界の最先端を行く府立海洋センターの試算では、ズワイガニの場合、雄1匹に対して雌が2匹くらいにするのがちょうどよいのだそうです。そこで、日本海では初めての産卵を終えて1年以上たった雌に限って漁獲を認めています。

ズワイガニの研究で世界の最先端を行く府立海洋センターの試算では、ズワイガニの場合、雄1匹に対して雌が2匹くらいにするのがちょうどよいのだそうです。そこで、日本海では初めての産卵を終えて1年以上たった雌に限って漁獲を認めています。

その後、各県の漁師さんと行政当局が力を合わせてズワイガニ資源の回復のために、漁期や漁獲サイズの制限、禁漁区の設定など、い

先には地元産と一緒、ロシア産やアラスカ産もたくさん並んでいますね。でも、外国産は大きな雄ガニばかりで雌ガニはありません。

先には地元産と一緒、ロシア産やアラスカ産もたくさん並んでいますね。でも、外国産は大きな雄ガニばかりで雌ガニはありません。

先には地元産と一緒、ロシア産やアラスカ産もたくさん並んでいますね。でも、外国産は大きな雄ガニばかりで雌ガニはありません。

先には地元産と一緒、ロシア産やアラスカ産もたくさん並んでいますね。でも、外国産は大きな雄ガニばかりで雌ガニはありません。



ズワイガニの水揚げ

先には地元産と一緒、ロシア産やアラスカ産もたくさん並んでいますね。でも、外国産は大きな雄ガニばかりで雌ガニはありません。